WAP551およびWAP561アクセスポイントでの電子メールアラートの設定

目的

システムイベントとは、システムをスムーズに実行し、障害を防止するために注意と必要なアクションが必要なシステム内のアクティビティです。これらのイベントはログとして記録されます。イベントが発生したときに必要なアクションを実行できるように担当者に通知するには、ログを電子メールアラートで送信します。このドキュメントでは、WAP551およびWAP561アクセスポイントでの電子メールアラートの設定について説明します。

該当するデバイス

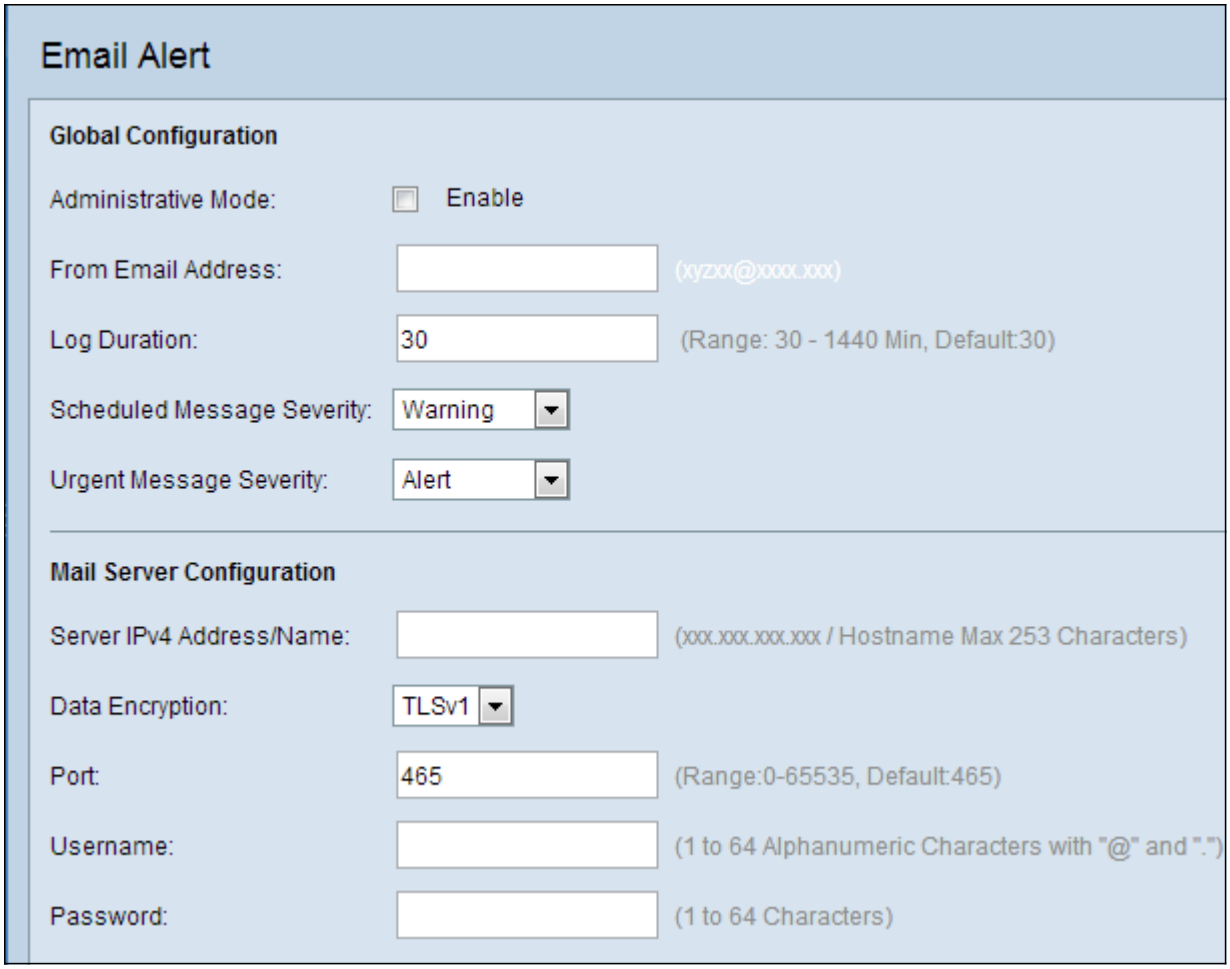
- WAP551
- WAP561

[Software Version]

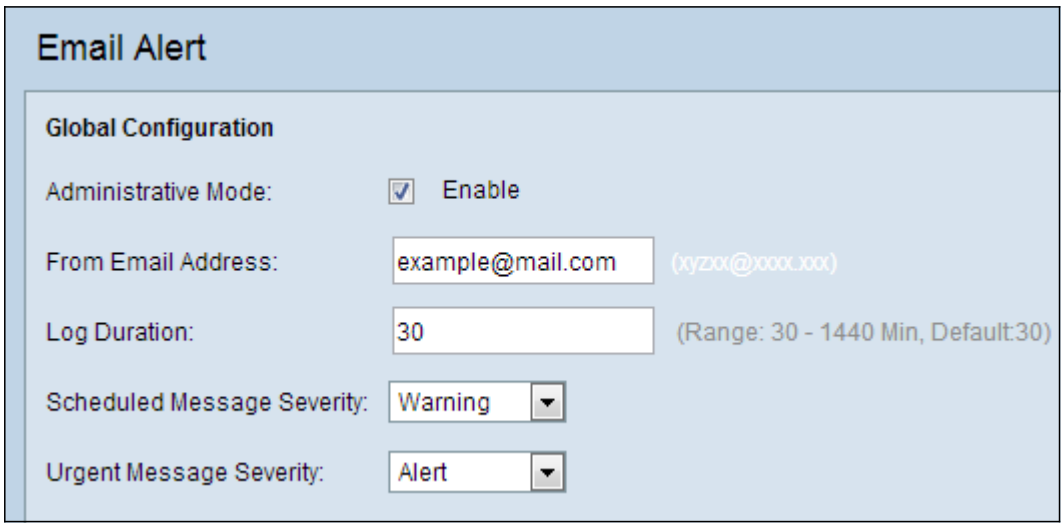
•1.0.4.2

電子メールアラートの設定

ステップ1：アクセスポイント設定ユーティリティにログインし、[Administration] > [E-mail Alert]**を選択します。**電子メール警告ページが開きます。



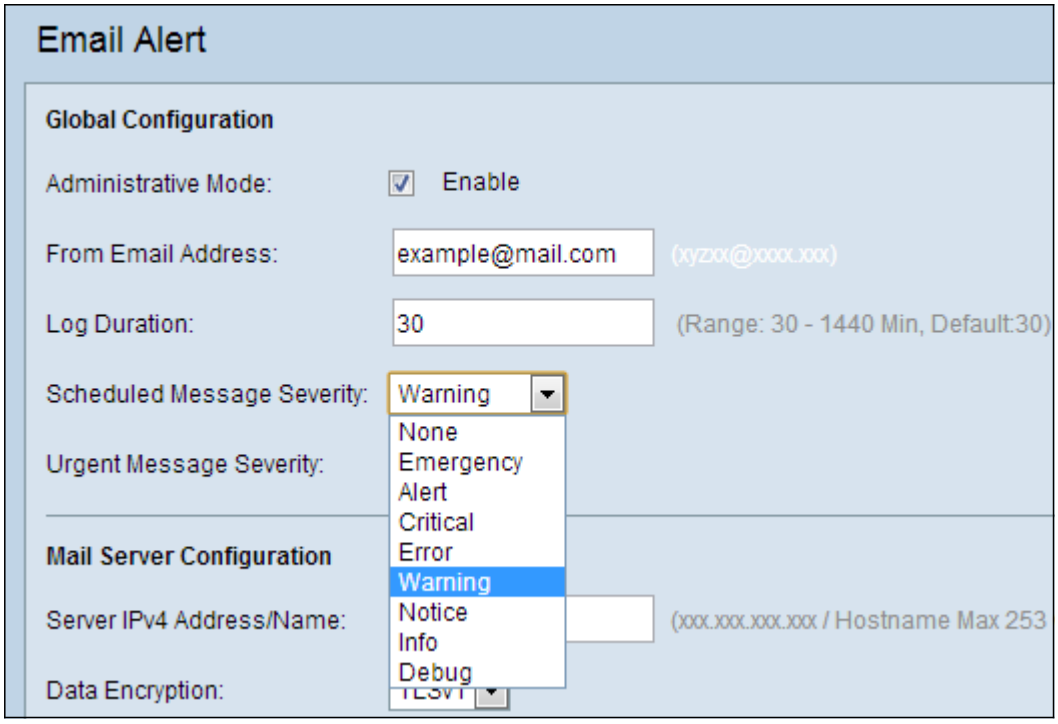
グローバル設定



ステップ1:[Administrative Mode]フィールドの[Enable] をオンにして、電子メールアラート機能をグローバルに有効にします。

ステップ2:[Email Address（メールアドレス）]フィールドに電子メールアドレスを入力します。このアドレスは、電子メールアラートの送信者として表示されます。デフォルトはnullです。

ステップ3:[Log Duration（ログ期間）]フィールドに、電子メールアラートが設定済みの電子メールアドレスに送信される時間間隔（分単位）を入力します。 デフォルトは 30 分です。



ステップ4:[Scheduled Message Severity]ドロップダウンリストから、目的のメッセージ重大度を選択します。選択したレベル以上のセキュリティレベルのすべてのイベントに対して、ログを含む電子メールメッセージが送信されます。

・ Emergency：このタイプのメッセージは、デバイスが重大な状況にあり、すぐに注意が必要なときにユーザに送信されます。

・ アラート：通常の設定とは異なるアクションが発生すると、このタイプのメッセージがユーザに送信されます。

・ 重要：ポートがダウンしているか、ユーザがネットワークにアクセスできない状況が発生すると、このタイプのメッセージがユーザに送信されます。早急な対応が必要です。

・ エラー：設定エラーが発生すると、このタイプのメッセージがユーザに送信されます。

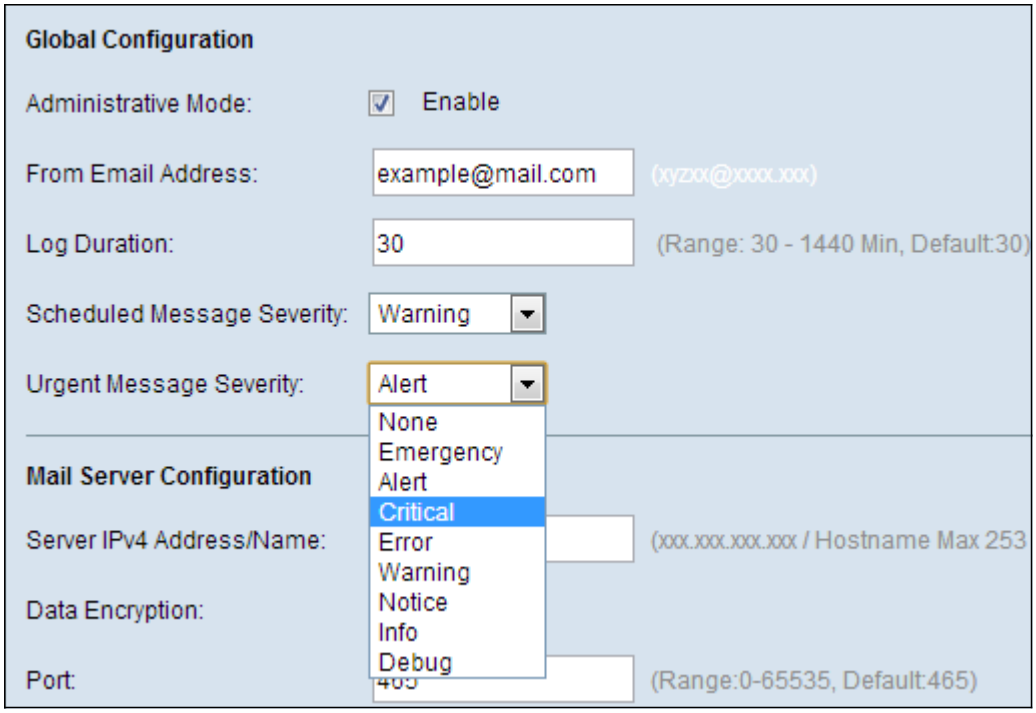
・ 警告：このタイプのメッセージは、ユーザが制限のないエリアにアクセスしようとすると、ユーザに送信されます。

・ 通知：このタイプのメッセージは、ネットワーク上で優先度の低い変更があった場合にユーザに送信されます。

・ 情報：このタイプのメッセージは、ネットワークの動作を説明するためにユーザに送信されます。

・ デバッグ：このタイプのメッセージは、ネットワークトラフィックのログとともにユーザに送信されます。

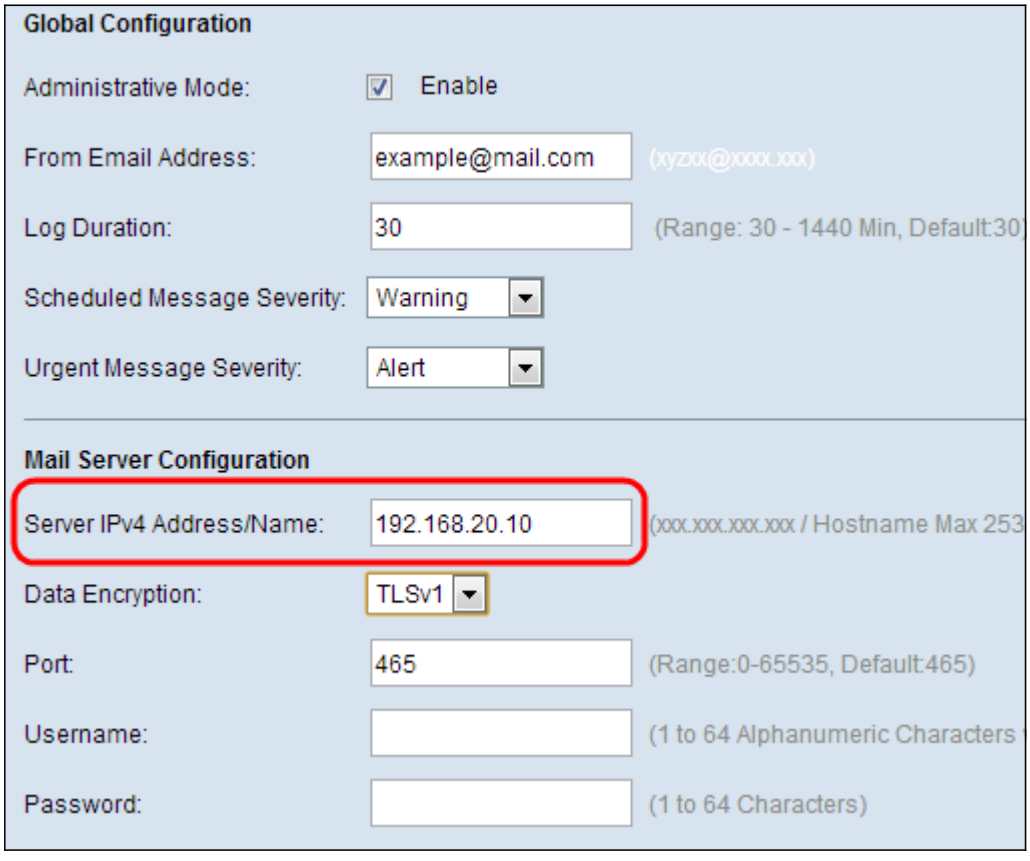
・ None：重大度メッセージは送信されません。



ステップ5:[Urgent Message Severity]ドロップダウンリストから、緊急メッセージタイプの適切なタイプを選択します。この重大度レベル以上のログメッセージは、設定済みの電子メールアドレスに即時に送信されます。選択肢はステップ4と同じです。デフォルトは[Alert]です。

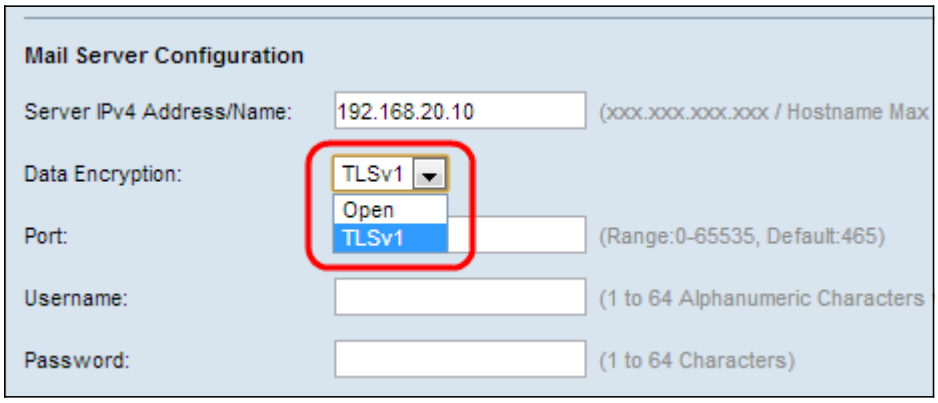
ステップ6：次の設定に進むか、ページの下部までスクロールして[保存]をクリックして、現在の設定を保存します。

メールサーバの設定

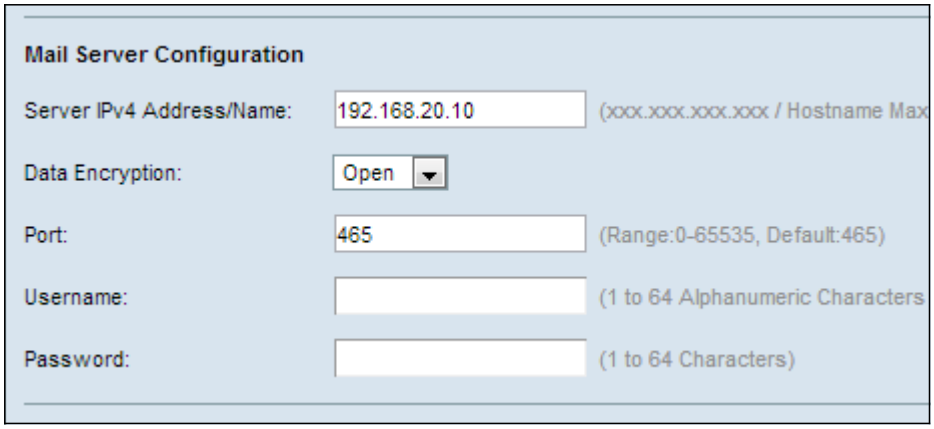


ステップ1：メールサーバの有効なホスト名またはIPアドレスを[Server IPv4

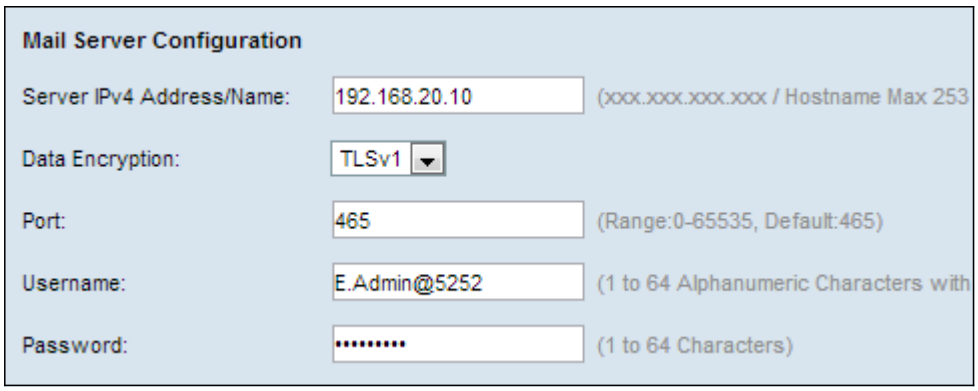
Address/Name]フィールドに入力します。



ステップ2:[Data Encryption]フィールドから、送信される電子メールのセキュリティモードを選択します。オプションは、TLS(Transport Layer Security)プロトコルまたはデフォルトのオープンプロトコルです。TLSv1（Transport Layer Securityバージョン1）は、セキュリティとデータの整合性を提供する暗号化プロトコルです。[Open protocol]を選択すると、[Username]フィールドと[Password]フィールドが無効になるため、[Open protocol skip Step 10]を選択した場合。



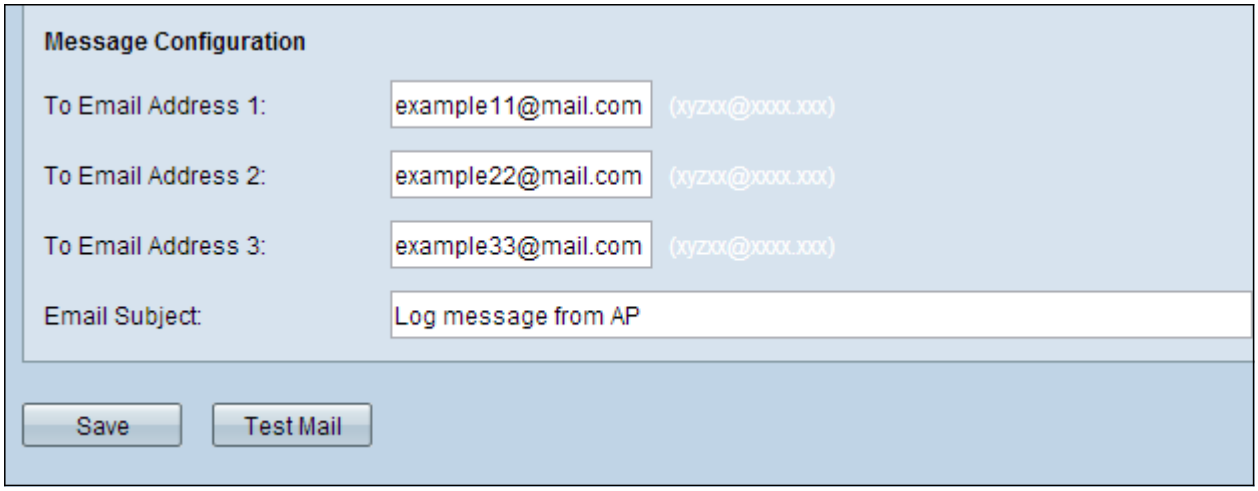
ステップ3:[Port]フィールドにメールサーバのポート番号を入力します。デフォルト値は465 です。



ステップ4：ステップ8で選択したセキュリティモードがTLSv1の場合は、[Username]フィールドと[Password]フィールドに認証用のユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ5：次の設定に進むか、ページの下部までスクロールして[保存]をクリックして、現在の設定を保存します。

メッセージの設定



ステップ1:[To E-mail Address 1, 2, 3(s)]フィールドに、電子メールのアラートメッセージの送信先となる有効な電子メールアドレスを3つまで入力します。

ステップ2:[E-mail Subject]フィールドに、電子メールの件名として表示される文字列を入力します。

ステップ3:[Test Mail]をクリックして、設定されたメールサーバ資格情報を検証します。これにより、設定が機能するかどうかを確認するために、設定された電子メールアドレスに電子メールが送信されます。

ステップ4:[Save]をクリックして設定を保存します。